

# 事業報告書

## 第1 事業の概要

令和元年度は、5月に元号が「令和」となり、10月には消費税率が改定され、更に新型コロナウイルスの感染が拡大するなど、事業団を取り巻く環境は目まぐるしく動いた年でありました。

令和元年度の経営を振り返りますとき、新型コロナウイルスの感染拡大による影響に言及せざるを得ません。3月初旬から屋内施設の3月利用分の新規予約の受け付けを止めるとともに、屋外屋内施設の既予約分のキャンセルに応じてまいりました。さらに、自主事業であるスポーツ・健康運動教室の3月分を中止いたしました。3月に入ってこのような厳しい状況になりましたが、それまでの間、使用料収入は順調に推移しておりましたので、過去5年の平均と比較して、年間の減収額は3月の減収額とほぼ同額に止まりました。

一方、支出の面においては、工夫と努力により経費の節減に努めるとともに、経費の執行を見合わせるなどにより、法人として持続可能な繰越金を確保することができました。

事業団の経営は、自然に大きく影響を受けますが、今回のような不測の事態への対応に苦慮し、安定した経営を維持することの難しさと大切さを学びました。今後も、この経験を生かして適切な経営判断に努めてまいります。

公園の管理であります。市民の皆様に安心安全に御利用いただけるよう、年間を通して除草、剪定をはじめ、ゴミの回収、遊具、公園灯の点検、修理などを実施いたしました。また、市民体育館等の管理についても安心安全に御利用いただけるよう保守点検に努めました。

自主事業であります。八幡市が推進する健幸都市づくりに応えて、市民体育館及び男山レクリエーションセンターで、2月まで各種のスポーツ教室を実施いたしました。

令和元年度は、3年を期間とする第4期指定管理の中間年で、次の指定管理者選定に向けての大事な年であり、現在、与えられている指定管理の責務をしっかりと果たすべく努力してまいります。